

平成29年度 各会計別予算総括表

(単位:千円)

会計名	平成29年度当初予算額	平成28年度当初予算額	比較	対前年度伸率
一般会計	40,371,000	38,470,000	1,901,000	4.9%
特別会計	23,284,756	22,687,385	597,371	2.6%
国民健康保険事業	14,691,142	14,642,427	48,715	0.3%
介護保険事業	7,019,445	6,552,531	466,914	7.1%
後期高齢者医療事業	1,574,169	1,492,427	81,742	5.5%
特別会計(廃止)	—	3,103,587	▲ 3,103,587	皆減
下水道事業	—	3,103,587	▲ 3,103,587	皆減
企業会計(新規)	4,808,273	—	4,808,273	皆増
公共下水道事業	4,808,273	—	4,808,273	皆増
合計	68,464,029	64,260,972	4,203,057	6.5%

※特別会計の比較については、廃止される下水道事業会計を除いています。

公明党

賛成

○平成29年度当初予算案（一般会計、3特別会計及び1企業会計）に賛成します。

▽「HUG HUGえびな宣言」の関連事業として、地域版子育て支援センターはぐはぐ広場が設置され、子育て支援策のさらなる強化として、子どもと家庭に対する相談体制の充実に取り組まれます。中学校までの医療費無料と相まって、本市の子育て支援策に対し、子育てをしている親から「産んで良かった、育てて良かった」と実感していただけののではないでしょうか。▽学生の定住促進事業として、学生家賃補助事業や奨学金返還補助事業が計画されています。その他、本市の魅力を内外に発信するシティプロモーション活動、農業活性化を目的とした南部への拠点施設設置など、これらの事業を評価するとともに、実現に向けて鋭意努力されることを期待します。▽公共施設再編（適正化）計画は、肃々と進めなければなりません。公共施設の約半数を占める学校施設も例外ではなく、人口動向によつては統廃合の選択を余儀なくされる場面も出てくると予想されます。例えば極端に稼働率の低い施設を廃止することには賛成するが、その施設が自分の地域に立地する施設であることなどにより反対にまわる、総論賛成各論反対という現象が出てくるようです。これらを克服するには、一にも二にも丁寧な説明を繰り返すしかないのではないかと考えます。多少の計画変更はあつたとしても、目標に向かつて確実に進められるよう、市長の英断に期待します。▽今後も、駅間開発や海老名駅北口の開設などが続きますが、民間主導の開発であつても、行政としてできることはしっかりと協力されるよう望みます。



日本共産党

反対

○平成29年度当初予算案（一般会計、3特別会計及び1企業会計）のうち、一般会計に反対します。

▽中学生までの「子ども医療費助成」や「住宅リフォームへの助成」継続、「魅力ある店舗づくり支援事業」本格実施、「若者（学生）定住促進事業」「就学援助制度」大幅改善・充実、小・中学校1年生への教材費補助、「防災ラジオ」利用促進などの諸施策は評価します。▽4つの大きな問題点から、一般会計予算案に反対します。▽第1に、大型開発事業の問題です。海老名駅西口開発に関連し、来年度以降も引き続き、多額の税金が投入されようとしています。市民が納めた貴重な税金は、大規模開発事業ではなく、市民の暮らしと命、地域経済を守る施策に優先して振り向けるべきです。▽第2に、市立図書館運営に関する問題です。中央図書館のリニューアルオープン後、指定管理者である當利を追求せざるを得ない民間企業による運営において、さまざまな問題点が露呈しましたが、公立図書館として抱えていた基本的・根本的な問題の解決に至つていません。また、「図書館協議会」再設置や、「社会教育委員会議」の市民公募を行わないことと問題です。▽第3に、市の職員体制の問題です。当市はこれまで、県内自治体の中で、最少レベルの職員体制を続けてきました。災害対応や市民の期待に応えられる人的体制が確保されているとは言えません。▽第4に、個人番号、いわゆるマイナンバー制度に関わる問題です。同制度は、情報漏洩やなりすまし被害の危険性が高く、莫大な公費が投入されることも含め、多くの国民は同制度に対し、危惧と疑念を抱いています。国が導入を推し進めている制度とは言え、様々な大きな問題を抱える同制度の実施は認められません。